

1. 次の2次関数のグラフをかけ。また、その軸と頂点をいえ。

(1) $y=\frac{1}{2}x^2+2x$ (2) $y=(2x+1)(x-2)$

2. 次の条件を満たす2次関数を求めよ。

- (1) $x=1$ のとき最小値 -2 をとり、 $x=-1$ のとき $y=6$
(2) $x=-2$ のとき最大値 6 をとり、 $x=1$ のとき $y=-3$

3. 次の条件を満たす放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

- (1) 頂点が点 $(1, 2)$ で、点 $(0, 4)$ を通る。
(2) 直線 $x=-3$ を軸とし、2点 $(-2, 0)$ 、 $(1, -15)$ を通る。

4. グラフが次の3点を通る2次関数を求めよ。

- (1) $(-1, 0)$ 、 $(0, 2)$ 、 $(1, 6)$ (2) $(-1, -6)$ 、 $(1, 0)$ 、 $(2, 6)$
(3) $(1, -1)$ 、 $(2, 6)$ 、 $(-3, -9)$ (4) $(-2, -9)$ 、 $(2, 7)$ 、 $(4, -9)$

5. グラフが次の条件を満たすような2次関数を求めよ。

- (1) 放物線 $y = x^2 - 3x + 2$ を平行移動したもので、2点 (1, 2), (2, 3) を通る。
- (2) 放物線 $y = 2x^2 + 3x + 1$ を平行移動したもので、軸が直線 $x = -1$, y 軸と点 (0, 7) で交わる。

6. x の2次関数 $y = x^2 + 2mx + 3m$ の最小値を k とする。

- (1) この関数の最小値 k を m の式で表せ。
- (2) この関数の最小値 k が -4 であるとき, m の値を求めよ。
- (3) k の値を最大にする m の値と, k の最大値を求めよ。

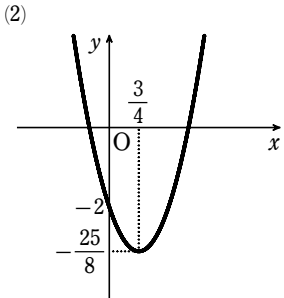
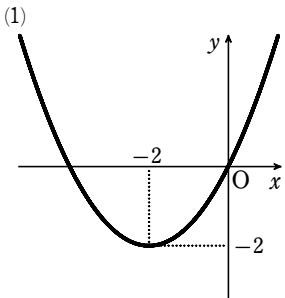
7. a を定数とする。関数 $y = -x^2 + 2ax - a$ ($-2 \leq x \leq 0$) の最小値を次の各場合について, それぞれ求めよ。

- (1) $a < -1$
- (2) $a = -1$
- (3) $a > -1$

1. 次の2次関数のグラフをかけ。また、その軸と頂点をいえ。

(1) $y = \frac{1}{2}x^2 + 2x$ (2) $y = (2x + 1)(x - 2)$

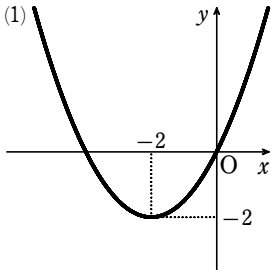
【解答】 (1) [図], 直線 $x = -2$, 点 $(-2, -2)$ (2) [図], 直線 $x = \frac{3}{4}$, 点 $(\frac{3}{4}, -\frac{25}{8})$



【解説】

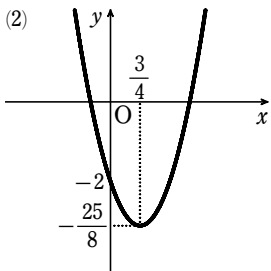
(1) $y = \frac{1}{2}x^2 + 2x = \frac{1}{2}(x^2 + 4x)$
 $= \frac{1}{2}(x^2 + 2 \cdot 2x + 2^2) - \frac{1}{2} \cdot 2^2$
 $= \frac{1}{2}(x + 2)^2 - 2$

グラフは[図], 軸は直線 $x = -2$, 頂点は点 $(-2, -2)$



(2) $y = (2x + 1)(x - 2) = 2x^2 - 3x - 2$
 $= 2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2\right\} - 2\left(\frac{3}{4}\right)^2 - 2$
 $= 2\left(x - \frac{3}{4}\right)^2 - \frac{25}{8}$

グラフは[図], 軸は直線 $x = \frac{3}{4}$, 頂点は点 $(\frac{3}{4}, -\frac{25}{8})$



2. 次の条件を満たす2次関数を求めよ。

- (1) $x = 1$ のとき最小値 -2 をとり, $x = -1$ のとき $y = 6$
(2) $x = -2$ のとき最大値 6 をとり, $x = 1$ のとき $y = -3$

【解答】 (1) $y = 2x^2 - 4x$ (2) $y = -x^2 - 4x + 2$

【解説】

(1) $x = 1$ のとき最小値 -2 をとるから, 求める2次関数は $y = a(x - 1)^2 - 2$ ($a > 0$) とおける。 $x = -1$ のとき $y = 6$ であるから
 $4a - 2 = 6$ ゆえに $a = 2$ これは $a > 0$ を満たす。
よって, 求める2次関数は

$y = 2(x - 1)^2 - 2$ すなわち $y = 2x^2 - 4x$

(2) $x = -2$ のとき最大値 6 をとるから, 求める2次関数は $y = a(x + 2)^2 + 6$ ($a < 0$) とおける。 $x = 1$ のとき $y = -3$ であるから
 $9a + 6 = -3$ ゆえに $a = -1$ これは $a < 0$ を満たす。
よって, 求める2次関数は

$y = -(x + 2)^2 + 6$ すなわち $y = -x^2 - 4x + 2$

3. 次の条件を満たす放物線をグラフにもつ2次関数を求めよ。

- (1) 頂点が点 $(1, 2)$ で, 点 $(0, 4)$ を通る。
(2) 直線 $x = -3$ を軸とし, 2点 $(-2, 0)$, $(1, -15)$ を通る。

【解答】 (1) $y = 2x^2 - 4x + 4$ (2) $y = -x^2 - 6x - 8$

【解説】

(1) 頂点が点 $(1, 2)$ であるから, 求める2次関数は $y = a(x - 1)^2 + 2$ とおける。
このグラフが点 $(0, 4)$ を通るから $a + 2 = 4$ ゆえに $a = 2$
よって, 求める2次関数は

$y = 2(x - 1)^2 + 2$ すなわち $y = 2x^2 - 4x + 4$

(2) 軸が直線 $x = -3$ であるから, 求める2次関数は $y = a(x + 3)^2 + q$ とおける。
このグラフが2点 $(-2, 0)$, $(1, -15)$ を通るから
 $a + q = 0$, $16a + q = -15$ これを解いて $a = -1$, $q = 1$
よって, 求める2次関数は

$y = -(x + 3)^2 + 1$ すなわち $y = -x^2 - 6x - 8$

4. グラフが次の3点を通る2次関数を求めよ。

- (1) $(-1, 0)$, $(0, 2)$, $(1, 6)$ (2) $(-1, -6)$, $(1, 0)$, $(2, 6)$
(3) $(1, -1)$, $(2, 6)$, $(-3, -9)$ (4) $(-2, -9)$, $(2, 7)$, $(4, -9)$

【解答】 (1) $y = x^2 + 3x + 2$ (2) $y = x^2 + 3x - 4$ (3) $y = x^2 + 4x - 6$
(4) $y = -2x^2 + 4x + 7$

【解説】

求める2次関数を $y = ax^2 + bx + c$ とおく。

(1) グラフが3点 $(-1, 0)$, $(0, 2)$, $(1, 6)$ を通るから

$$\begin{cases} a - b + c = 0 & \cdots \cdots \text{①} \\ c = 2 & \cdots \cdots \text{②} \\ a + b + c = 6 & \cdots \cdots \text{③} \end{cases}$$

②を①に代入して $a - b + 2 = 0$ $\cdots \cdots \text{④}$

②を③に代入して $a + b + 2 = 6$ $\cdots \cdots \text{⑤}$

④+⑤から $2a + 4 = 6$ ゆえに $a = 1$

⑤-④から $2b = 6$ ゆえに $b = 3$

よって, 求める2次関数は $y = x^2 + 3x + 2$

(2) グラフが3点 $(-1, -6)$, $(1, 0)$, $(2, 6)$ を通るから

$$\begin{cases} a - b + c = -6 & \cdots \cdots \text{①} \\ a + b + c = 0 & \cdots \cdots \text{②} \\ 4a + 2b + c = 6 & \cdots \cdots \text{③} \end{cases}$$

②-①から $2b = 6$ ゆえに $b = 3$

③-②から $3a + b = 6$ $\cdots \cdots \text{④}$

④に $b = 3$ を代入して $3a + 3 = 6$ ゆえに $a = 1$

$a = 1$, $b = 3$ を②に代入して $1 + 3 + c = 0$ ゆえに $c = -4$

よって, 求める2次関数は $y = x^2 + 3x - 4$

(3) グラフが3点 $(1, -1)$, $(2, 6)$, $(-3, -9)$ を通るから

$$\begin{cases} a + b + c = -1 & \cdots \cdots \text{①} \\ 4a + 2b + c = 6 & \cdots \cdots \text{②} \\ 9a - 3b + c = -9 & \cdots \cdots \text{③} \end{cases}$$

②-①から $3a + b = 7$ $\cdots \cdots \text{④}$

③-②から $5a - 5b = -15$ よって $a - b = -3$ $\cdots \cdots \text{⑤}$

④+⑤から $4a = 4$ ゆえに $a = 1$

$a = 1$ を④に代入して $3 + b = 7$ ゆえに $b = 4$

$a = 1$, $b = 4$ を①に代入して $1 + 4 + c = -1$ ゆえに $c = -6$

よって, 求める2次関数は $y = x^2 + 4x - 6$

(4) グラフが3点 $(-2, -9)$, $(2, 7)$, $(4, -9)$ を通るから

$$\begin{cases} 4a - 2b + c = -9 & \cdots \cdots \text{①} \\ 4a + 2b + c = 7 & \cdots \cdots \text{②} \\ 16a + 4b + c = -9 & \cdots \cdots \text{③} \end{cases}$$

②-①から $4b = 16$ ゆえに $b = 4$

③-②から $12a + 2b = -16$ よって $6a + b = -8$ $\cdots \cdots \text{④}$

$b = 4$ を④に代入して $6a + 4 = -8$ ゆえに $a = -2$

$a = -2$, $b = 4$ を①に代入して $-8 - 8 + c = -9$ ゆえに $c = 7$

よって, 求める2次関数は $y = -2x^2 + 4x + 7$

5. グラフが次の条件を満たすような2次関数を求めよ。

- (1) 放物線 $y=x^2-3x+2$ を平行移動したもので、2点 (1, 2), (2, 3) を通る。
- (2) 放物線 $y=2x^2+3x+1$ を平行移動したもので、軸が直線 $x=-1$, y 軸と点 (0, 7) で交わる。

解答 (1) $y=x^2-2x+3$ (2) $y=2x^2+4x+7$

解説

- (1) 放物線 $y=x^2-3x+2$ を平行移動したものであるから、求める2次関数は $y=x^2+bx+c$ とおける。
このグラフが2点 (1, 2), (2, 3) を通るから
$$2=1+b+c, \quad 3=4+2b+c$$
すなわち $b+c=1, \quad 2b+c=-1$
これを解くと $b=-2, c=3$
よって、求める2次関数は $y=x^2-2x+3$
- (2) グラフが放物線 $y=2x^2+3x+1$ を平行移動したもので、軸が直線 $x=-1$ であるから、求める2次関数は $y=2(x+1)^2+q$ とおける。
点 (0, 7) を通るから $2+q=7$ ゆえに $q=5$
よって、求める2次関数は
$$y=2(x+1)^2+5 \quad \text{すなわち} \quad y=2x^2+4x+7$$

6. x の2次関数 $y=x^2+2mx+3m$ の最小値を k とする。

- (1) この関数の最小値 k を m の式で表せ。
- (2) この関数の最小値 k が -4 であるとき、 m の値を求めよ。
- (3) k の値を最大にする m の値と、 k の最大値を求めよ。

解答 (1) $k=-m^2+3m$ (2) $m=-1, 4$ (3) $m=\frac{3}{2}$ で最大値 $\frac{9}{4}$

解説

- (1) $y=(x+m)^2-m^2+3m$ より、 y は $x=-m$ で最小値 $-m^2+3m$ をとるので $k=-m^2+3m$
- (2) $-m^2+3m=-4$ より $m^2-3m-4=0$
これを解いて $m=-1, 4$
- (3) $-m^2+3m=-\left(m-\frac{3}{2}\right)^2+\frac{9}{4}$ より $k=-\left(m-\frac{3}{2}\right)^2+\frac{9}{4}$
よって、 k は $m=\frac{3}{2}$ で最大値 $\frac{9}{4}$ をとる。

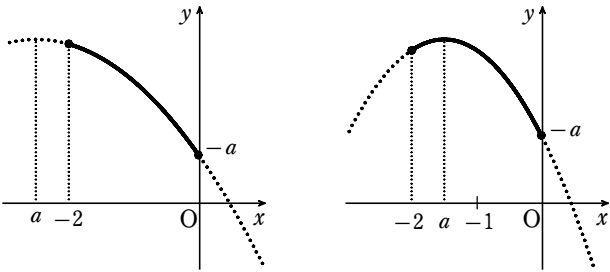
7. a を定数とする。関数 $y=-x^2+2ax-a$ ($-2\leq x\leq 0$) の最小値を次の各場合について、それぞれ求めよ。

- (1) $a<-1$
- (2) $a=-1$
- (3) $a>-1$

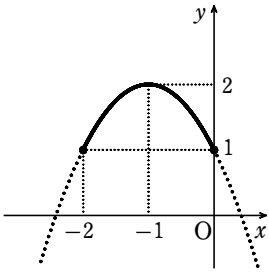
解答 (1) $x=0$ で 最小値 $-a$ (2) $x=-2, 0$ で 最小値 1
(3) $x=-2$ で 最小値 $-4-5a$

解説

- $y=-x^2+2ax-a=-(x-a)^2+a^2-a$ ($-2\leq x\leq 0$)
この関数のグラフは上に凸の放物線で、頂点は点 (a, a^2-a)
ゆえに、各場合において下の図のようになる。
 $x=-2$ のとき $y=-4-5a$, $x=0$ のとき $y=-a$
定義域の中央は $x=-1$ であるから、図より
(1) $a<-1$ のとき $x=0$ で 最小値 $-a$
(2) $a=-1$ のとき $x=-2, 0$ で 最小値 1
(3) $a>-1$ のとき $x=-2$ で 最小値 $-4-5a$
(1) $a<-1$



- (2) $a=-1$



- (3) $a>-1$

